



株式会社やまと

SDGs進捗レポート

弊社はSDGsの目標達成に向けた取組みを行っています



ワークショップinやまと開催しました！

(主催：株式会社やまと・共催：石橋を次の世代へつなごう会)



※字幕が表示されない場合は、再生時に右下の歯車（設定）をクリック→字幕→"日本語"をクリックして下さい。

石橋の保護・保全活動は、SDGs（持続可能な開発目標）に貢献する重要な取り組みです。以下のように各目標と結びつけることができます。

- 目標11: 住み続けられるまちづくりを**
石橋は地域の文化遺産であり、地域のアイデンティティを支える役割を持っています。その保護は、持続可能な地域社会の形成に寄与します。
- 目標12: つくる責任 つかう責任**
石橋の修復・維持は、天然資源を適切に活用し、持続可能な方法で行うことが求められます。資源の有効利用と廃棄物削減に貢献します。
- 目標13: 気候変動に具体的な対策を**
石橋は災害耐久性を持つ構造物が多く、その保全は防災や地域の安全性向上に寄与します。
- 目標15: 陸の豊かさを守ろう**
石橋の保護はその周辺環境や生態系の保全にもつながり、特に川や溪谷周辺の自然環境を守ります。
- 目標17: パートナースhipで目標を達成しよう**
地域住民や行政機関、NPOなどとの協力が不可欠で、持続可能な保全活動を強化します。

さらに、ミニチュア石橋作りのワークショップは、以下の目標に貢献します。

1. 目標4: 質の高い教育をみんなに

石橋の歴史や文化的意義について学ぶ機会を提供し、地域文化への理解を深めます。

2. 目標11: 住み続けられるまちづくりを

地域文化の重要性を再認識し、次世代への意識を育みます。

3. 目標12: つくる責任 つかう責任

リサイクル資材や環境に優しい素材を使用し、持続可能な消費行動を促進します。

4. 目標15: 陸の豊かさも守ろう

石橋とその自然環境の共生の重要性を啓発します。

5. 目標17: パートナーシップで目標を達成しよう

地域の協力を通じて、持続可能な文化保護活動を推進します。

このように、石橋の保護・保全活動やミニチュア石橋作りのワークショップは、SDGsに貢献し、地域文化の継承や環境保護、地域社会の活性化に寄与します。



通潤橋が見える所で開催したかったのですが、あいにくの空模様で、通潤橋前の「あずまや」で開催しました。



【小石で作る石橋】

お姉さんが作っているところを真剣に見ています。



【積み木で作る石橋】

お母さんが見守る中、一生懸命作っています。



【阿蘇溶結凝灰岩で作る石橋】

高校生のお兄さんの説明を聞きながら、石を積み上げます。



【小石で作る石橋】

完成了ました！
これは難しいのに中々、上手いもんだ！



【小石で作る石橋】

上手く出来るかな～？



【レンガで作る石橋】

長さ: 1.8m、幅: 31.5cm
大小のレンガを交互に積み上げます。

チームワークが必要です。



【阿蘇溶結凝灰岩で作る石橋】

積み上げが終わったら、支保工を抜きます。



【積み木で作る石橋】

真剣そのものです！



【積み木で作る石橋】

高校生のお兄さんが、仕上がり具合を見ています。



【小石で作る石橋】

完成したわ！見てみて！



【レンガで作る石橋】

おばあちゃんも恐る恐る渡りました♪



【小石で作る石橋】

おばあちゃんも挑戦！
上手く出来るかな～？



【レンガで作る石橋】

完成したら渡り初めです♪



【レンガで作る石橋】

4人のグループで作って、渡り初めです♪
4人乗っても壊れません！



今回は、地元高校生と小学生のコラボによるもので、高校生が小学生に作り方を指導するワークショップです。

今回の種目は、

1. レンガで作る石橋
2. 小石で作る石橋
3. 積み木で作る石橋
4. 阿蘇溶結凝灰岩製のブロックで作る石橋（矢部高校所有物で今回初！）

参加者23名（内高校生6名、幼児2名）の4班編成で、4種目を各20分以内で作る競技にし、参加賞は、「国宝通潤橋 命の水道橋」と、通潤橋のペーパークラフト（肥後銀行様ご提供）で、

優勝賞品は、阿蘇溶結凝灰岩製の板（270mm×170mm×10mm）です。

雨の中、ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

皆様にご協力いただいたおかげで大変有意義な時間を過ごすことができました。

子ども達はもちろん、保護者、引率者の方々が、ミニチュア石橋づくりに感動し、そして、その笑顔と石橋が完成した時の歓声がとても印象的でした。

開催後にアンケートを取らせていただいた結果、子ども達へのアンケートで、ワークショップは楽しかったか？

の質問に対し、「とても楽しかった」という回答が72%あり、そして、「また参加したい」という回答が67%でした。

保護者及び引率者の方々へのアンケートでは、ワークショップは子どもさんにとって有意義だったか？という質問に対し、

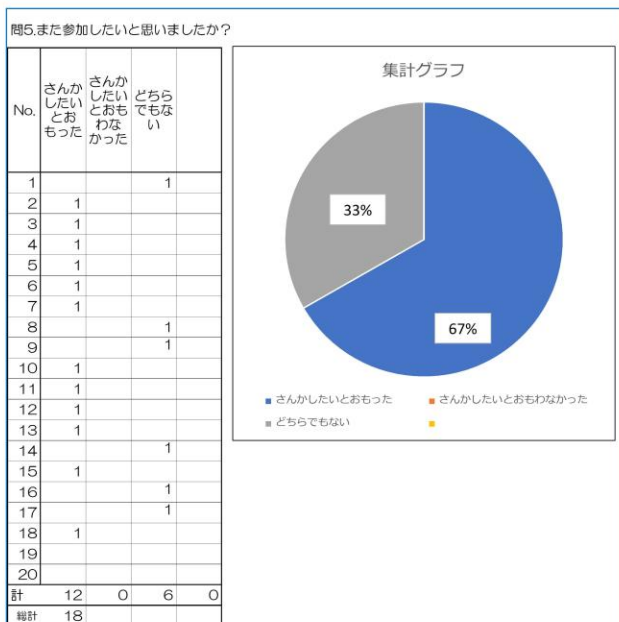
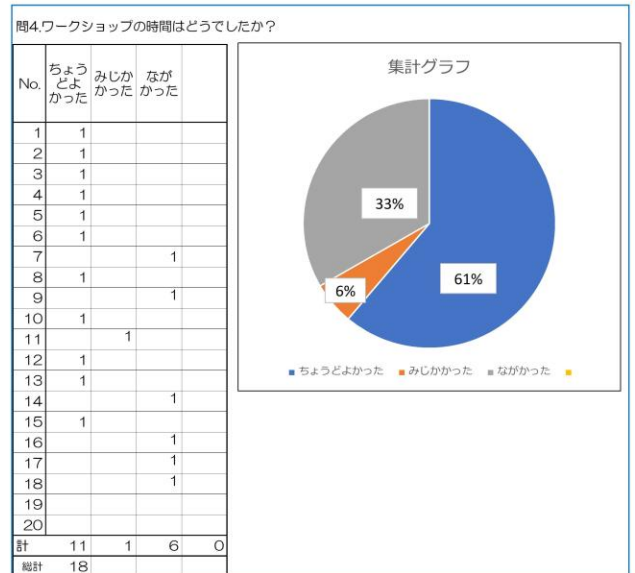
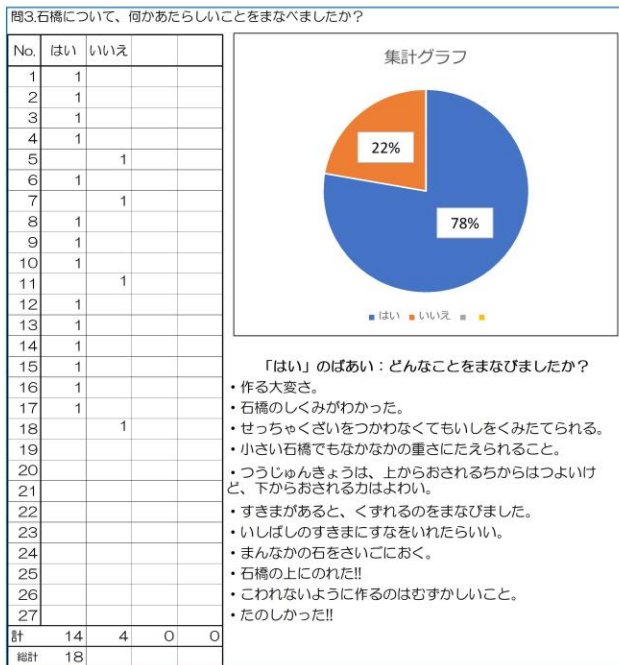
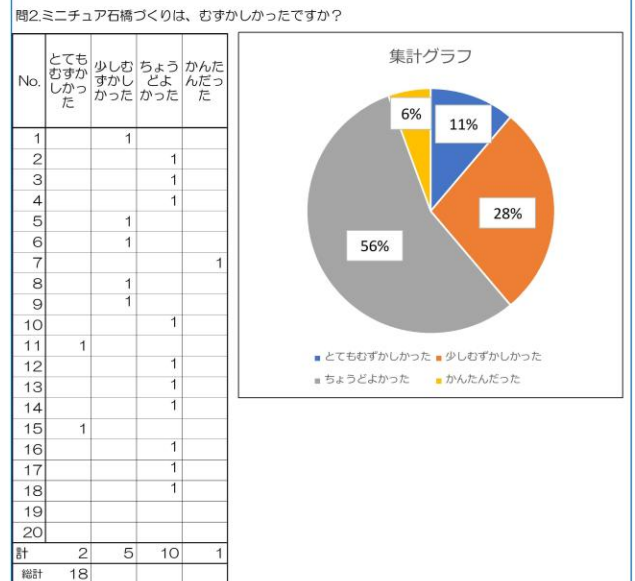
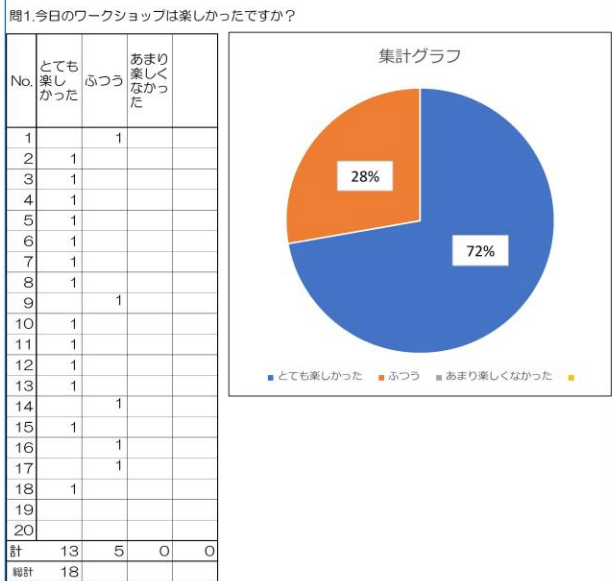
「ハイ」と答えた回答が100%でした。また、次回、同じ場所でワークショップを開催したら参加したいか？という質問に対し、

「ぜひ参加したい」という回答が83%でした。

ワークショップが皆様のご協力で、大盛況で成功裡に無事終わったことを大変うれしく思います。ご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました！

主催者：株式会社やまと 代表下田美鈴



【分析】

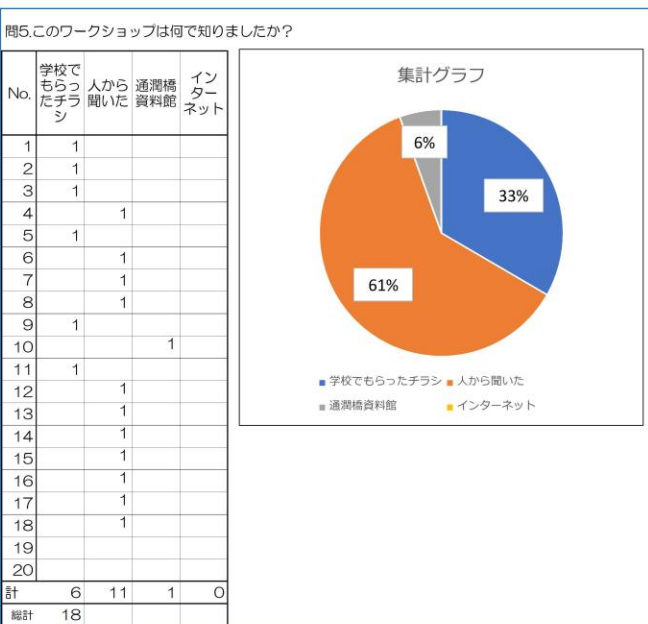
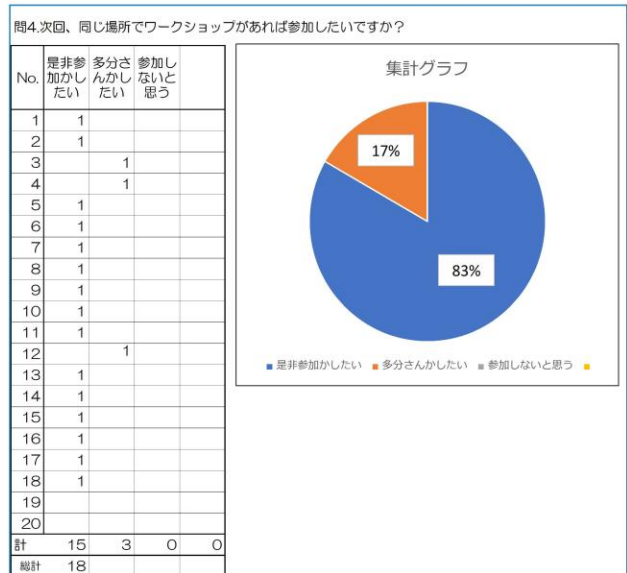
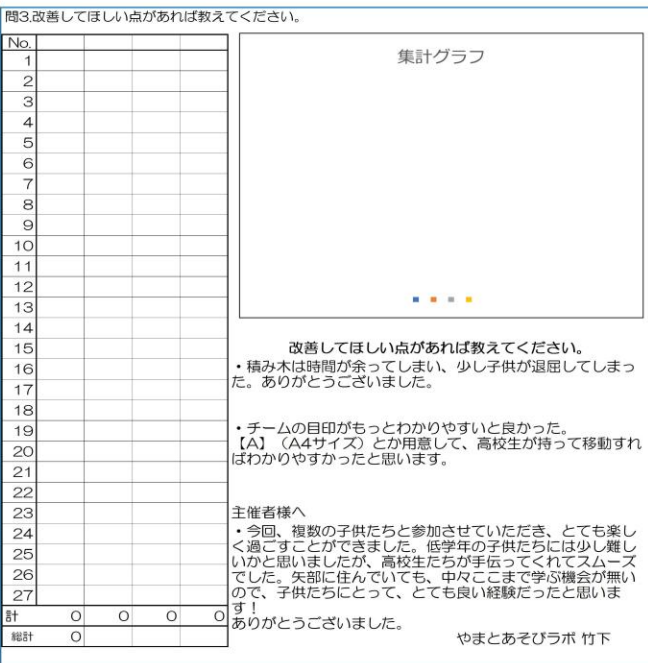
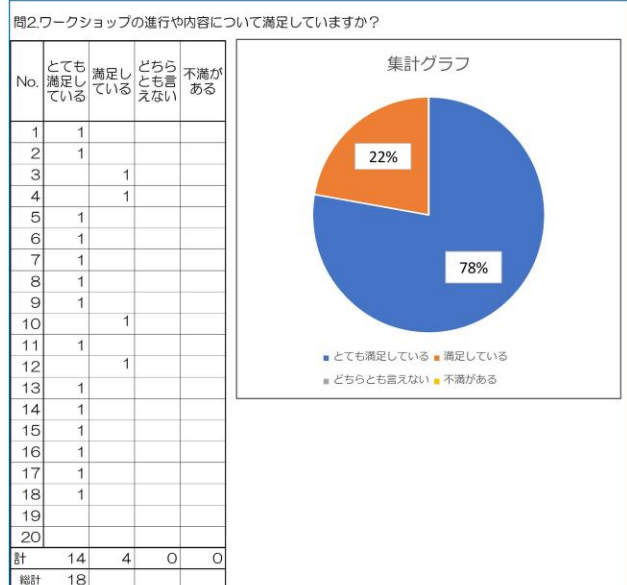
問1.今日のワークショップは楽しかったですか？
 ・”とても楽しかった”と答えた子が、72%と、高率であり、”あまり楽しくなかった”と答えた子が”0”であった事は喜ばしい結果である。

問2.ミニチュア石橋づくりは、むずかしかったですか？
 ・回答は分かれたが、参加者のほとんどが低学年であったことが要因のようである。

問3.石橋について、何かあたらしいことをまなべましたか？
 ・”はい”と答えた子が78%と高率であり、その子たちに貴重なコメントをもらったことは大きい。

問4.ワークショップの時間はどうでしたか？
 ・”ちょうどよかった”と答えた子が半数以上いたが、小1の子には長かったようである。

問5.また参加したいと思いませんか？
 ・”また参加したい”と思った子が半数以上で高率であったが、当初予定地で開催したら、また違う結果が出たのではないか？



【分析】

問1.今回のワークショップは、お子様にとって有意義だったと思いますか？
 ・ヨイショの回答があるかもしれないが”有意義だった”が100%とは、素晴らしい！

問2.ワークショップの進行や内容について満足していますか？
 ・”とても満足しているが”78%とは嬉しい限り！

問3.改善してほしい点があれば教えてください。
 ・貴重なコメントを頂いた。次回開催する際の参考としたい。

問4.次回、同じ場所でワークショップがあれば参加したいですか？
 ・”是非参加したい”が83%とは！嬉しい限り！

問5.このワークショップは何で知りましたか？
 ・”人から聞いた”が比較的多く、学校へのチラシ配布の効果はあまり無かったのか？